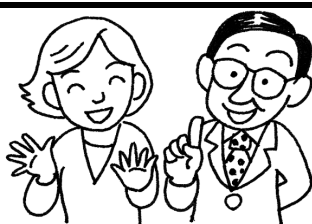


おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 量と測定 /  
おうちの方へ / 理解シート

12時15分と0時15分のちがいは、  
どのように教えたらいでしょうか



ふつう、12時15分は、24時制で使う表し方です。

1

12時制では、午前や午後のことばを付けて、0時15分と読みます。

1日は12時間の2つ分で、24時間です。

午前は、午前0時から午前12時までです。

午後は、午後0時から午後12時までです。

午前12時は午後0時と同じ時刻です。

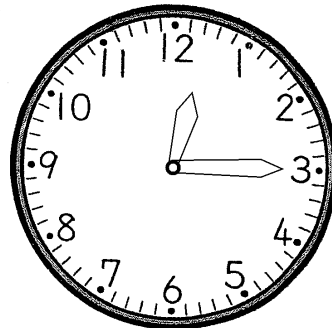
ですから、昼の12時(0時)は、午前12時

または、午後0時で、午後12時とか午前0時ではありません。

このことから考えると、時計の時間は、0時から始まって12時で終わります。

ここでは、12時制の時計の読み方を勉強しています。

そこで、右のような時計の読み方は、正しくは0時15分になります。



2

24時制では、昼に12時15分があります。

1日24時間を2つに分けないで、24時間で表す方法があります。

この方法では、昼の1時は→13時、2時は→14時、3時は→15時、……、夜中の12時→24時で終わります。

12時制の午後0時15分は、24時制の12時15分になります。

このようなことから、昼の0時15分が12時15分と表記されることがあるのです。